

Anniversary

JR北陸本線「明峰駅」開業30周年

問い合わせ

まちデザイン課 ☎24・8100



▲30年前の開業式では、地域の皆さんが見守る中テープカットを行い、待望の駅開業を祝いました。



▲記念列車スーパー特急「きらめき」が初停車。地元住民ら200人を乗せて大阪方面へ発車しました。



▶小松明峰高校や小松北高校に近く、金沢方面から多くの学生が利用しています。

地元の願いにより新駅が開業

1988(昭和63)年10月1日、小松・寺井(現・能美根上)間に県内46番目のJR駅となる「明峰駅」が誕生しました。当時、市北部地域は、教育・文化施設などの立地により住環境が整備され、人口が増加。鉄道利用による利便性向上と更なる地域振興を図るため、地元の強い働きかけによつて開業が実現しました。

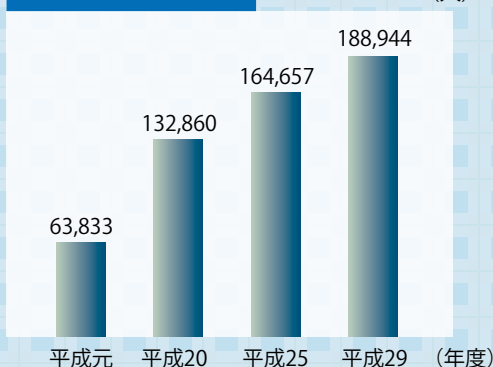
あわせて県が横断地下道を整備。後に市が駐輪場やロータリー、駐車場などを整備し、現在の駅周辺の姿となりました。

県道に架かる横断歩道橋の完成やIC乗車券の導入など、時代とともに進化しながら、今年で開業から30周年を迎えます。9月30日(日)には、地元の皆さんによる記念式典が行われます。

更に利用しやすく、便利に

明峰駅は、通勤や通学などで多くの人に利用され、平成29年度の乗車人員は平成20年度と比べ、約42%増加しています。

明峰駅乗車人員



今年度、駐輪場やトイレ、駅前広場の舗装などの改修工事を行うほか、Wi-Fiの利用が可能になります。皆さんの暮らしを支えます。

